



2022 年 5 月 20 日発行

拝啓

さわやかな初夏の気配を感じる今日この頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

新生活の疲れが出やすい季節でもあります。

そんなときは図書館に足を運んでみると良いかもしれません。

心を解きほぐしてくれる一冊との出会いが、これまで頑張ってきた自分、

これから頑張っていく自分への労いになるのではないのでしょうか。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2022 年 6 月～2022 年 7 月カレンダー

LiLian Special Info.

さらっと読める短編小説特集

今月の一冊

『雲と鉛筆』

LiLian Interview

桐原健真先生（文学部 日本語日本文化学科）



2022年6月・7月 カレンダー

6月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◎	2 ◎	3 ◎	4 ○
5 休館	6 ◎	7 ◎	8 ◎	9 ◎	10 ◎	11 ○
12 休館	13 ◎	14 ◎	15 ◎	16 ◎	17 ◎	18 ○
19 休館	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 ◎	24 ◎	25 ○
26 休館	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ◎		

7月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2 ○
3 休館	4 ◎	5 ◎	6 ◎	7 ◎	8 ◎	9 ○
10 休館	11 ◎	12 ◎	13 ◎	14 ◎	15 ◎	16 ○
17 休館	18 休館	19 ◎	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 ○
24/31 休館	25 ◎	26 ◎	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ○

最新情報は
HPをご確認下さい



LiLian Special Info.

* さらっと読める短編小説特集 *

いざ小説を読もうと思っても忙しくて時間がなかったり、そもそも活字を読むのが苦手だったり…

そこで、気軽に読める短編小説はいかがですか？

ちょっとした隙間時間にも読める短編小説を今回紹介します！

『星新一ショートショート1001 全3巻』星新一／著

(請求記号：913.6/H92/9(1-3))

短編小説と言ったら星新一のショートショート。

星新一の短編集とショートショートを全1048編収録しています。

SFが好きな人にぜひ読んでもらいたい大全集。

『アイネクライネナハトムジーク』伊坂幸太郎／著

(請求記号：913.6/I68/18a)

6章からなる連作短編集。

恋愛小説で、続きが気になること間違いなし…！？

2019年には映画化もされています。



『大崎梢リクエスト！本屋さんのアンソロジー』飛鳥井千砂／ほか著

(請求記号：913.6/A935)

10人の作家が本屋さんをテーマにして書いた短編小説です。

それぞれの作家の個性や作風が味わえます。

読み終えた後には本屋さんに行きたくなっているかも？？



* 今 月 の 一 冊 *

「雲と鉛筆」 吉田篤弘/著

請求記号

913.6
Y869
7

閲覧室 3 F

屋根裏部屋に住み、鉛筆工場で働いているぼく。鉛筆を削って雲を描き、姉に手紙を書いて、人生について考えます。便利になったことで忘れてしまっていることの味わい深さを教えてくれる本です。

日常を過ごす中で、胸に留めておきたい言葉がたくさんあり、優しい気持ちになることができます。

100 ページ程の短い本なので、

是非読んでみてください！

(みなみ)





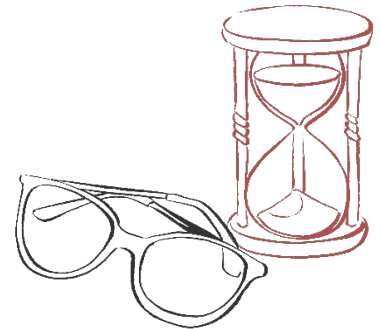
LiLian Interview

大すきな先生にインタビューに行こう 48

文学部 日本語日本文化学科

きりはらけんしん

桐原健真 先生



1. どのような研究をされていますか？

吉田松陰のような幕末志士を始めとした近代日本の文化や思想・宗教を研究しています。またあることばがどのように作られ、そのことばの影響により日本人の考え方がどう変わったのかといった研究もしています。例えば「婚活」という言葉が2007年くらいに生まれたことで、20代後半以降の男女に、結婚しないといけない、婚活をしない人は普通の人と違うという強迫観念が生まれました。こういうのを言説研究といいます。

2. 先生の趣味は何ですか？

言ってしまうと研究が趣味ですが、その研究のためにも日本各地のお城や史跡を見に旅行するのが趣味ですね。愛知県内のそういった観光地に行くことが多いです。

犬山城のある犬山や渥美半島の伊良湖岬などですね。愛知県には温泉もあるし、歴史的に重要な文化財もたくさんあるんですよ。

しかし、最近は守山区から外に出ることすら減ってしまって、家か大学にいたることが多くなりました。そういう時はヤフオクで貴重な本を安く買えないか探したりしています。時々掘り出し物をゲットできます。

3. 学生時代に心に残った思い出を教えてください。

学生時代から研究に明け暮れていましたが、同じ研究室の個性的な仲間と、研究室に集まってワイワイやっていたのが思い出に残っています。

研究が好きで少し変わりものだった仲間たちと、ある日研究室で焼肉パーティーを開催したことがありました。焼き肉用の電源はもちろん大学のコンセントからもらっていたのですが、どうやら負荷がかかりすぎたのかフロアのブレーカーが落ちてその階が真っ暗に。一騒動になってしまいました。馬鹿らしいエピソードですがとても心に残っています。

4. 教訓や座右の銘はありますか？

指導教員の「論文を書いて、自分の中で物の見方や考え方など何か変わったものがなければ、書いた意味はないよ」ということばです。ものを書く時に心してかからなければいけない、と常に心に留めています。

また、とある漫画のフレーズなのですが「みんなで幸せになろうよ」もよいことばだと思います。

5. 金城で教えるようになったきっかけはなんですか？

以前の金城学院大学の日本語日本文化学科では、言語以外のコースは、文化と文学という分野ごとのコース分けでした。これが今のように古典と近現代という時代ごとのコースに再編成する際、教員の公募があって、それがきっかけでこの大学にやってきました。

金城に来ようと思ったわけは、前の大学では、先が見通せないと思ったことが一つ。

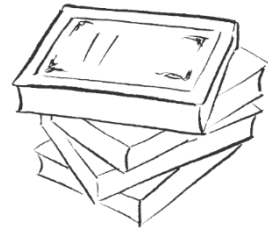
それと、キリスト教学校としての金城学院大学はいい大学であるとかねてから聞いていたからです。



6. 金城生におすすめの本を教えてください。

星新一の時代小説を集めた『星新一時代小説集 天の巻＆人の巻』と『殿さまの日』です。

星新一はSFのショートショートでよく知られていますが、彼の時代小説もなかなか味わい深く、江戸時代を肌感覚でよく描いています。特に『殿さまの日』に入っている同名の短編は、殿さまが朝起きて、顔を洗い、ヒゲを剃り、どんなご飯を食べ、どんなお稽古をして、というのを綴っているだけです。その様子やその時の殿さまの気持ちを細かく描いていて面白いです。時代小説としてもかなり特殊な作品なので、江戸時代に関心がある人におすすめです。



7. 本気で好きな本はなんですか？

小松左京のSFものが好きです。最近では本を研究対象としか見られなくなっていて、あまり読めていないのですが小松左京のSFは大好きです。

特に好きなのは『復活の日』と『日本沈没』ですね。

SFはある意味「こんなことが起こったら、人間は何をどう考えるのか」という思考実験だと考えています。小松左京のSFは突拍子もない設定が多いのですが、そうした思考実験として面白いと感じます。

8. 金城生に一言お願いします。

金城学院大学の図書館は、書庫に学生が入れるのが良いところだと思っています。皆さんには、ぜひ活用して欲しいと思います。またデータベースも非常によく整備されていますので、ぜひ一度触れてみて下さい。

☆インタビューを終えて☆

桐原先生とは今回初めてお話をさせていただいたのですが、先生のご専門である吉田松陰をはじめとした、興味深いお話がいくつも聞くことができ非常に楽しかったです。
(なつき)

オンラインとはいえ先生としっかりお話したことがなかったのでとても新鮮な気持ちになりました。愛知県の史跡をもっと回ってみたいと思いました。

先生が仰ったことをまとめて文章にする作業が楽しくてキーボードを叩く指が弾むように動きました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

(あお)

* 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） *

『星新一時代小説集 天の巻 & 人の巻』

星新一／著 只今準備中

『殿さまの日』 星新一／著

→『星新一ショートショート1001 ②』に収録

請求記号：913.6/H92/9(2)

『復活の日』 小松左京／著

請求記号：913.6/Ko61/5

『日本沈没 上・下』 小松左京／著

請求記号：913.6/Ko61/a(1・2)

